

「副会長会研修会」を開催

▼令和六年七月二十六日一四時、全日本中学校長会館において「副会長会研修会」をオンラインで開催した。

▼講師は文部科学省初等中等教育局企画官の鈴木文孝氏。

研修会には、全国から一三〇人を越える校長先生方の参加があった。今回の研修会は「教師を取り巻く環境整備について」というテーマで、本年五月十三日に示された中央教育審議会特別部会『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について』をベースに、これまでの審議の経過、背景、内容について詳細なお話を聞くことができた。

▼特に今回の「審議のまとめ」のポイントとして次の三点について強調された。

一、働き方改革の更なる加速化
三分類に基づく業務適正化の徹底、校務DXによる業務の効率化

・すべての教育委員会における働き方改革の取組状況の「見える化」や定量的な目標を設定したPDCAサイクルの構築

二、学校の指導・運営体制の充実

・小学校中学年における教科担任制
・生徒指導担当教師の全中学校配置
・若手教師支援

・組織的、機動的なマネジメント体制構築に向けた「新たな職」の実現等

三、「次世代型チーム学校」の実現
教師の処遇改善

・教育調整額の率を十%以上にする
・「新たな職」に対応した新たな級の創設

・学級担任への義務特手当の加算
・管理職手当の改善等

▼なお、当日の研修会で使用された資料(PDF)は、本会HPにもアップされているので、御覧いただければ幸いです。

「教育関係二十三団体」として緊急アピールを文科大臣に手交

▼八月五日、※「教育関係二十三団体」では、先の中教審『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」審議のまとめを受け、秋から始まる概算要求に向けて、緊急アピールを盛山文科大臣に手交した。

※全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校長会、全国連合退職校長会、全国高等学校長協会、全国公立学校教頭会、(公社)日本PTA全国協議会、(公社)日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国



写真：文部科学省提供

特別支援教育推進連盟、全国へき地教育研究連盟、日本連合教育会、全国養護教諭連絡協議会、全国公立小中学校事務職員研究会、(公社)全国学校栄養士協議会、日本教職員組合、全日本教職員連盟、日本高等学校教職員組合、全国教育管理職員団体協議会

▼これには、「教育関係二十三団体」の代表六団体の長が参加した。

今回の緊急アピールの柱は次の三点である。(要旨)

一、教科指導の専門性を持った教員による小学校教科担任制の中学年への拡大や中学校の生徒指導担当教員の配置拡充などに向け、教職員定数の改善を速やかに行うとともに、中学校・高等学校も含めた少人数数学級の計画的な整備を実現すること。

一、定数改善に加え、教員業務支援員や副校長・教頭マネジメント支援員、部活動指導員をはじめとする支援スタッフの充実により、教員が教員でなければできないことに集中できる環境を整備すること。また、いじめ、不登校などの深刻な状況を踏まえ、スタールカウンセラー、スタールソーシャルワーカーの配置を充実すること。

一、人材確保法の趣旨を踏まえ、教員

の処遇改善として教職調整額を少なくとも一〇%以上とするとともに、新たな職及び級の創設等、職務の重要性や負荷に応じた処遇を実現すること。

▼この緊急アピールは本会HPにもアップされているので、御覧いただきたい。

▼秋には、新内閣が組閣されると思われるが、国に対しては、年末には処遇改善をはじめ、定数改善等が大きく前に進められるよう予算の確保や拡大の実現に期待したい。

会員計報

鹿児島県龍郷町立赤徳小中学校長

堀内俊勝様 五十六歳 七月十日

栃木県栃木市立大平中学校長

三谷 誠様 五十五歳 七月二十三日

謹んでお悔やみ申し上げます。

(事務局長 富士道正尋)